

こっこめ通信 06 2010

「移動ルートは怎么样了？」号



八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて「こっこめ」とよびます。

今年のGWは、すばらしい晴天に恵まれました。毎年後半には天候が崩れることが多く、飛行機の就航が気になっていましたが、今年はそんな心配もご無用でした。ビジターセンターへの来館者も多く、GW中に開催した20の行事には、延べ195名もの方々の参加がありました。この場をおかりしてお礼申し上げます。

しかし、今年は2月以降雨の日が多く、寒暖の差も大きかったせいでしょうか？ 春なのに海岸にはイソギクやツワブキなどの秋の花が咲いていました。季節外れの花はあまり見たいものではありませんね。

さて、今回は「いつもと違うメンバーたち」「ザトウクジラがやってきた」についてのお話です。

いつもと違うメンバーたち

今年は例年とは違うメンバーが島に渡って来ています。そこで写真を撮ってみて、いつものメンバーと見比べてみました。中段がいつも島に渡ってくる常連メンバー、上段と下段がいつもと違ったメンバーです。

島では“黄色いセキレイ”と言えば、キセキレイですが、今年は上段の三種も渡って来ています。“広い場所にいる嘴の長いシギ”と言えば、下向きに湾曲しているチュウシャクシギですが、今年は嘴の反っているオオソリハシシギも渡って来ています。“渡ってくるムシクイ”と言えば、「チュイチュイチュイ」のイイジマムシクイですが、「チュイチュイビ〜」のセンダイムシクイも来ていました。“アジサシ”と言えば、ハジロクロハラアジサシやクロハラアジサシですが、尾羽が長く頭の黒いアジサシの姿もありました。

今年はいつもと違うメンバーが多いですが、この先の道（ルート）を間違えずに繁殖地へ渡ってくださることを願います。



キガシラセキレイ



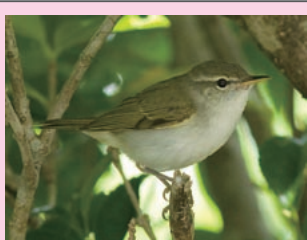
亜種キタツメナガセキレイ



亜種マミジロツメナガセキレイ



チュウシャクシギ



イイジマムシクイ



キセキレイ



ハジロクロハラアジサシ



オオソリハシシギ



センダイムシクイ



アジサシ

「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

ザトウクジラがやってきた

2010年5月10日、「島の西側の海域（八丈島と八丈小島の間）にクジラが泳いでいる」と島の漁師「岩丸」の船長から連絡があり、確認に行ってみると二頭のザトウクジラが泳いでいました。距離は少し離れていましたが、双眼鏡を使えばその姿がはっきりとわかる大きさのクジラでした。



二頭のクジラのうち一頭は体が小さく、まだ子供のようなでした（写真左上）。子供と思われるクジラは、体を水面から持ち上げる“ブリーチ”も両方の胸びれが水面から出ず、まだまだ練習中？（写真右上・右下）のようでした。時々親と思われるクジラがお手本も見せていましたが、水しぶきなどの迫力は桁違いでした。また、“ブリーチ”の練習だけではなく、頭部だけを水面に上げ、そのまま口から落ちる“ヘッドスラップ”の練習もしていました（連続写真）。そして、親と思われるクジラは、尾びれをまっすぐに持ち上げ潜水する“フルークアップ”して、長い間水面に出てこない時間もありました（写真左下）。



ザトウクジラはナガスクジラ科に属するヒゲクジラの仲間で、大きさは13m前後、体重は25～30tにもなります。クジラ類の中でもっとも長くて大きな胸びれや低い三角形の背ビレが特徴。尾びれの後縁はぎざぎざに縁取られ、腹面側の模様やキズなどで個体識別がされています。

全海洋に分布していますが赤道を越えることはありません。北半球のグループは、夏季にベーリング海やアラスカ湾などの高緯度を採食場として、冬季には沖縄、小笠原、ハワイ、メキシコなどの低緯度で繁殖、出産、子育てをします。

今回、八丈島で確認されたザトウクジラは、冬季に小笠原か沖縄で過ごした個体が夏季に過ごす高緯度への移動中に立ち寄ったものではないかと考えています。（伊豆・小笠原海溝の西、七島硫黄島海嶺に沿って北上してきた？黒潮に乗ってきた？）

ここ数年、4月～5月に周辺海域でザトウクジラを目撃があります。毎年確実に見られるようになってくれるとうれしいですね。



八丈植物公園季節調査会の報告

八丈ビジターセンターでは、毎月第二日曜日に、植物公園の生きものから季節を感じようという趣旨で、「八丈植物公園季節調査会」を開催しています。毎回見られる植物がどのように変化していくか、また、どんな鳥や植物が見られるかも観察しています。今回は5月9日に行いました。

八丈植物公園季節調査（平成22年第5回）参加者・菊池昭、黒田、沖山、茂手木、VC 菊池

NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態	NO.	和名（島名）	状態
草本			33	トウバナ	実	11	ヒサカキ	実
1	アオスゲ	実	34	トキワハゼ	花	12	ヒメユズリハ	花
2	アオノクマタケラン	昨年の実	35	ニラバラン	花	シダ植物		
3	アシタバ	実	36	ニワゼキショウ	花と実			
4	イヌタデ	花	37	ヌカススキ	花	1	オオタニワタリ	
5	イワニガナ	花と実	38	ヌカボ	実	2	オニヤブソテツ	
6	ウスベニチチコグサ	花	39	ハハコグサ	花	3	カニクサ	
7	ウスベニニガナ	花	40	ハルジオン	花	4	コハシゴシダ	僅かに残る
8	ウラジロチチコグサ	花	41	ヒナギキョウ	花と実	5	コハナヤスリ	出始め
9	オオアレチノギク	花	42	ヒメコバンソウ	実	6	タチクラマゴケ	胞子葉
10	オオトキワツユクサ	花	43	ヒメヌカボ	実	7	タチシノブ	
11	オオニワゼキショウ	花と実	44	ヒメハギ	花	8	タマシダ	
12	オオバコ	花と実	45	ヒメヨツバムグラ	花	9	トラノオシダ	
13	オニタビラコ	花	46	フウトウカズラ	雄花	10	ノキシノブ	
14	オランダミミナグサ	花	47	マツバウンラン	実	11	ハチジョウカナワラビ	
15	カタバミ	花と実	48	マメカミツレ	花と実	12	ヒトツバ	
16	カニツリグサ	実	49	ミゾイチゴツナギ	実	13	ホシダ	
17	カラスノエンドウ	実	50	ムラサキカタバミ	花	14	マツバラン	胞子
18	キツネノボタン	花と実	51	メキシコマンネングサ	花	15	マメツタ	
19	キランソウ	花	52	ヤエムグラ	花	16	ミウライノデ	
20	コケミズ	花	木本			17	ミゾシダ	
21	コナスビ	花				18	オクマワラビ	一株だけ
22	コメツブツメクサ	花	1	アカメガシワ	蕾	今回はほとんどの行程を解説員抜きで調査してもらいましたが、82種の植物が記録されました。		
23	コモチマンネングサ	花	2	イヌビワ	実			
24	シチトウスミレ	花	3	エノキ	実			
25	シマササバラ	花	4	オオシマザクラ	実			
26	シラスゲ	実	5	オオバヤシャブシ	実			
27	スズメノテッポウ	花	6	カジイチゴ	花と実			
28	スズメノヤリ	実	7	スダジイ	花			
29	セイヨウタンポポ	花	8	タブノキ	花と実			
30	タチイヌノフグリ	花と実	9	ハゼノキ	花			
31	チチコグサモドキ	花	10	ハチジョウイボタ	花			
32	ツメクサ	花						

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、八丈の名前がついている「ハチジョウコバネササキリモドキ」にスポットを当ててみたいと思います。



ハチジョウコバネササキリモドキ

Cosmetura mikuraensis hachijyoensis

ササキリモドキ科の昆虫で、八丈島にのみ分布しています。

大きさは10mm前後、体は緑色で背中中央は茶褐色。

雄の尾肢の基部上部に突起がほとんどないことでミクラコバネササキリモドキとは区別されています。6月～8月にかけて照葉樹林の葉の上で見られますが、個体数は少ないようです。

2010 八丈ビジターセンター 6 プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島（神湊）の潮の満ち引きの時刻です。
左側が満潮時刻、右側が干潮時刻です。また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5 ● ガイドウォーク
		06:28 01:10 20:44 13:33	07:06 01:49 21:18 14:10	07:50 02:37 21:55 14:49	08:45 03:37 22:38 15:32	10:04 04:53 23:26 16:23
芒種 6 ガイドウォーク	7	8	9	10	11	12 ● ガイドウォーク
06:12 07:17 11:54 17:28	00:17 07:17 13:40 18:44	01:06 08:08 14:56 19:58	01:50 08:51 15:53 20:59	02:31 09:31 16:40 21:49	03:11 10:11 17:24 22:33	03:51 10:52 18:06 23:14
13 ガイドウォーク 植物公園 季節調査会	14	15	16	17	18	19 ● ガイドウォーク
04:32 11:34 18:48 23:55	05:16 12:18 19:29	06:02 00:37 20:09 13:02	06:52 01:23 20:48 13:47	07:47 02:14 21:27 14:33	08:50 03:13 22:05 15:20	10:10 04:21 22:45 16:10
20 ガイドウォーク	夏至 21	22	23	24	25	26 ○ ガイドウォーク 八文学講座 「植物公園シダ観察会」
11:53 05:38 23:31 17:07	13:46 06:53 18:18	00:23 07:57 15:15 19:41	01:19 08:50 16:16 20:55	02:14 09:36 17:02 21:52	03:03 10:17 17:40 22:36	03:48 10:55 18:13 23:14
27 ガイドウォーク	28	29	30			
04:29 11:32 18:44 23:48	05:08 12:06 19:12	05:46 00:21 19:39 12:40	06:24 00:55 20:05 13:12			

この色の日は
特別行事があります

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化を一緒に感じましょう！
6/13（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

八文学講座 「植物公園シダ観察会」

毎月行っている八文学講座。公園内にあるシダ植物と一緒に観察しませんか。どんなシダがあるのでしょうか？
6/26（13:30～ 約1時間半） 中学生以上
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：15名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター

2010.6.1 第109号

開館時間 9:00～16:45 年中無休（入場無料）

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

編集後記

島は回りから隔離されている環境だから、新しい出会いがあるとうれしいです。数少ない渡りの鳥を記録として撮影することは私の使命だと思っています。だって何十km、何百km、あるいは何千kmも飛んで、島にたどり着いてくれたんですからね。（高）